

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 元年 11月11日
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	7人	2人		13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時など、御家族と会える時間は有効に使い、会話をするようにしていく。利用者様・御家族・事業所がお互いに相談しやすい関係を作って行けるよう関わっていく。 ・利用者様と関わる時間をもち、コミュニケーションを多く取り信頼関係を構築していく。 ・利用者様が安心して心地よく過ごせるようにするため、職員は利用者様同士の良好な関係が築けるよう配慮し関わっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的には御家族との関わり方も考え、良好な関係性を築く事ができたように思う。ただ、御家族とのトラブルもあったため、それは改善しなければいけない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4人	8人	1人		13人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		11人	1人	1人	13人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1人	9人	2人	1人	13人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1人	9人	2人	1人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・朝・夕の申し送りで情報共有はできている。意識して利用者様とコミュニケーションを取ることで気付く事もあり、様子観察も行えた。 ・職員それぞれが、利用者様との距離感を考えながら対応していた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様・御家族に対して、関わり方に配慮が足りていないと思う場面があった。ご家族の方とも良い関係性を築くため、対応・言葉遣いなどもっと気を付けていかなければならない。お客様であるという事を意識していけば、対応にも変化が現れると思う。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様、ご家族共にお客様であるという意識付け ・経験等に捉われず、職員同士が注意し合える事業所を目指す。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 11月11日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	1人	13人

前回の改善計画	
・認知症の進行や障害等によって意思疎通が出来ない方に対しては、会話によるコミュニケーション方法ではなく、関わる中での表情やしぐさ等を観察し、介護者視点ではなく、相手の価値観や考え方、意思を理解する努力をしていく。 ・利用者様本人の思いを引き出せるよう、日々の関わりを大切にし、事業所内だけではなく利用者様本人、御家族等が協力して頂けるような働きかけをしていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・介護者視点で関わっている場面はやはり見受けられた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5人	5人	3人	13人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1人	6人	4人	2人	13人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		7人	4人	2人	13人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		7人	4人	2人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・意思疎通ができない利用者様に対しても、多くの職員が関わる中でその考えを理解しようとする努力をしていた。表情・しぐさの観察を行い、様々考えながら対応を行った。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・利用者様が何かをする事に対し、見守るという行為も必要だと感じる。多少時間を要してしまうのは仕方のない事だと理解し、一つ一つの動作を大切にしていきたい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・利用者様の目標・目的に対して正しい対応を考えていきたい。利用者様が出来る事は出来る限りご自身に任せ、その幅を広げられるような対応をしていきたい。それにより危険が生じるポイントを、職員側がケアしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 11月11日

3. 日常生活の支援

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		12人	1人		13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・小さな変化に気付けるよう日々の関わりを大切にし、気付いたことは記録し共有する。 ・利用者様本人が自分らしくあるために、支援者として「以前の暮らし方」を一つでも多く知る努力をする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが利用者様と関わる中で、「知ろう」という努力をしていた。利用者様本人の事を知るために、積極的にコミュニケーションを図っていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2人	9人	2人	13人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5人	8人			13人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	6人	6人		13人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5人	7人	1人		13人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1人	10人	2人		13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様と関わる事で気付いた事についてなど、記録とその共有には個人差があるが、ある程度できるようになってきている。 ・職員それぞれが積極的に、利用者様とコミュニケーションを図っていた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・記録については個人差が大きく、記録すべきか否かで迷ってしまうという意見が多々みられた。個人的意見ではなく、客観的事実として記録が必要であるという意識の改善が必要である。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・何の為の、誰の為の記録なのか理解し、客観的事実を元に記録を行う。 ・記録の要・不要を考えるのではなく、とりあえず記録に残していく。些細な事だからと個人でとどめずに、記録に残し情報の共有に繋げる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 元年 11月11日
------------------	-----	--------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	13人
---------------	------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7人	5人	1人	13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・送迎等の機会を活用し、ご自宅でどう過ごされていたかを聞くようにしていく。 ・御家族にも協力し、お互いが協力しあえるよう働きかけをしていく。 ・独居の方で御家族の対応が難しい方については、民生委員等と連絡を取るようになっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様のご自宅でどのように過ごされていたか、逆に事業所ではどのように過ごされているか、ご家族との会話にそのような内容も取り入れた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5人	6人	2人	13人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1人	4人	6人	2人	13人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5人	6人	2人	13人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4人	4人	5人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご自宅での様子を把握する事で、事業所ではどのように過ごしていただくか、利用者様に必要な事は何か、様々考えながら対応をしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の方にお会いする機会は職員によって差が生じてしまう。 ・ご自宅での過ごし方の把握も個人差が大きく、ご本人からしか情報を得られない方もいる。その情報が正しいか否かの判断も困難である。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・経験が浅い、知識が乏しい職員の為にも研修等を行い、理解を深めていく。 ・送迎等でご近所の方にお会いした際など、積極的にコミュニケーションを図り、そこからも情報を得られるような働きかけをしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 元年 11月11日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	8人	1人		13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな変化に気付けるよう日々の関わりを大切に、気付いたことは記録し共有する。 ・利用者様、御家族の変化に気づき、速やかに対応できるよう職員同士が情報交換する。 ・状況に合わせたサービスを提供出来るようにし、その後の変化についても職員同士が話し合うようにしていく。 ・利用者様本人が前向きになれるような言葉かけ、対応をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・状況・状態に合わせサービスの提供を行った。 ・言葉遣い・対応に改善すべき点はまだまだある。職員同士が互いを指摘出来る環境を作っていく事も必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1人	8人	3人	1人	13人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3人	9人	1人		13人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5人	7人	1人		13人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4人	7人	2人		13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様・御家族から要望があれば、可能な限り支援の変更も行き、柔軟性を生かし支援を行えた。 ・朝・夕の申し送りや情報の共有はできている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様からの要望でも、その全てを受け入れる事は困難である。利用者様の今の能力を十分に生かした支援を行いたいが、それに伴うリスクとで天秤にかけてしまう。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援という意識を高める。利用者様が出来る事は可能な限り利用者様本人にお任せし、それによって伴うリスクを職員側がケア出来るような対応を考えていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 11月11日

6. 連携・協働

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	1人	13人

前回の改善計画
利用者様が関わる機関と連携を取る為、利用者様の状況について必要な報告を密に行ってい、相談・情報共有が出来るようにする。 ・事業所での行事の際には地域ボランティアに協力を依頼し、事業所内で皆様が楽しんで頂ける機会をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果
・医療機関との連携は、職員が受診対応を行うことで取ることができている。その他の機関については、職員それぞれが関わる機会を設けるのは困難である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2人	1人	3人	7人	13人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1人		3人	9人	13人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		1人	5人	7人	13人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2人	4人	7人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・ボランティアの方に協力していただき、皆様に楽しんでいただく機会を作っている。実際多くの利用者様が楽しそうにされている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・立地の環境からか、地域住民の方が事業所を訪れた事は過去に無かった。地域の方が訪れられるような働きかけが事業所側に必要だと感じる。 ・イベント等には参加したいと考えているが、情報不足により参加できていない。情報を得るため積極的に行動を起こしていきたい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・情報を得て地域のイベント等に、可能な方は積極的に参加していきたい。少数・短時間の参加でも、利用者様が外で楽しめる時間を作っていく。 ・地域の方にうぐいす荘がどんな所か知って頂けるように、積極的に働きかけを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 11月11日

7. 運営

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	2人		13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が業務担当し、うぐいす荘会議の場で報告・連絡・相談ができるようにし、活発な意見交換が出来るようにしていく。 ・利用者様や御家族、地域の方との関わり、会話の中から出た意見に対して、良い所は伸ばし、改善点については速やかに改善出来るよう職員同士が意見交換していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の意見も増加してきている。現状はまだ特定の職員の意見が多数を占めるが、そこから広がっていければ良いかと思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	5人	4人	3人	1人	13人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2人	7人	4人		13人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		9人	2人	2人	13人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		3人	6人	4人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・高い意識を持った職員がいる事により、それを感じ取った職員がその向上を目指すという、良い連鎖反応が生まれている。それが意見交換の増加に繋がっている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えが言いづらいという意見が複数あった。これは経験等に左右されてしまう点もあると思うのだが、経験が浅いからこそ違う視点で見える部分もあり、意見を出す事は間違いではないと理解して欲しい。 ・事業所として職員それぞれが意見を述べやすい環境を作り出す事も必要である。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・より良い事業所を目指し職員それぞれが意見を出し合い、その方向性・意識の統一を図る。 ・改善点については速やかに改善し、同じ事を決して繰り返さない。 ・職員それぞれが正しい技術・知識を身に着け、経験に左右されずお互いが指摘し合える事業所を目指す。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 11月11日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	6人		13人

前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・職員間でのヒヤリハットに対する意識を統一する為、会議等で話し合う。 ・利用者様に合わせたリスクマネジメントを全職員が同じ意識で対応出来るように定期的に話し合う。 ・職員が職場外研修に参加出来るように業務調整をし、職場外研修で学んだ事を、事業所の職員が同じ意識で業務に当たれるよう職場内で研修を行う。 	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・人的余裕が生まれず職場外研修への参加があまりできなかった。 	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2人	2人	6人	3人	13人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	2人	6人	4人	13人
③	地域連絡会に参加していますか		1人	5人	7人	13人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	7人	2人	3人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職場内研修を行い、ヒヤリハット・リスクマネジメントについての話し合いの場は設けている。 ・職場外研修等に参加できた職員も居たし、技術・知識の向上を目指し自身で学んでいる職員も居る。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な点において職員間の意識の差が大きい。技術・知識とは異なり、意識の改革は容易ではない。 ・職場外研修で学んだ事を周知する為の内部研修を行う事ができなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットに対する意識レベルの向上。事故を防ぐ為の大切な気付きであるという意識の向上を図る。定期的な研修等による周知を行い、改善を目指す。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 元年 11月11日
9. 人権・プライバシー	メンバー	13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	2人	1人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症、成年後見制度について学び、理解を深めていく。 ・利用者様が自分らしく過ごせるよう、支援者側の視点で対応することなくご本人の意思を確認しながら対応するようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症への理解と、実際の対応に差が生じてしまっていた。自身がこれまで学んできた事をもっと大切に考えて対応すべきである。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	13人				13人
②	虐待は行われていない	12人	1人			13人
③	プライバシーが守られている	7人	6人			13人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4人	6人	1人	2人	13人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8人	5人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・現状成年後見が必要な方は活用しているし、実際に利用者様が活用されている事で、成年後見制度への理解も深まっている。 ・プライバシーへの配慮は、職員一人一人が考え行動していた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・支援者側の対応となってしまうのではないかと感じてしまう局面も見受けられた。利用者様の為になる事かどうかを客観的に判断し、利用者様の能力を十分に生かせるよう支援していきたい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症、虐待等について、定期的に研修を行い理解を深め、常に正しい対応を心掛ける。 	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 清幸会	代表者	理事長 池田 香織
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 うぐいす荘	管理者	菊池 里美
法人・事業所の特徴	清幸会の使命は「介護を求め多くの人達を支援すること」である。それに基づき、うぐいす荘で「利用者様ひとりひとりが常に笑顔でいられるよう、関わり支援していく」ことを目標に、ご利用者様・ご家族様に安全・安心・信頼を与えられる福祉サービスの実践に努めています。		

出席者	市町村職員	1人	知見を有するもの	人	地域住民・地域団体	2人	利用者	人	利用者家族	1人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	人	事業所職員	13人	その他	人	合計	18人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ全員で自己評価・事業所評価について取り組んでいく。 個別評価の取り組みに対して、肯定的に受けるスタッフもあれば否定的に受けるスタッフもいる。個人の意見、評価として尊重するとともに、会議の中で意見交換し、共通認識を持つようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で自己評価・事業所評価を行った。 意見交換の機会も設けた。その中で、積極的に意見が出る職員とそうでない職員とで、温度差は感じられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価を常勤スタッフだけでなく、スタッフ全員で取り組んだという結果を評価する。 最終的に事業所への評価をくだすのは、利用者様本人である。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続してスタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいく。 認識のバラつきがやはり大きく、その差を埋める為の意見交換の機会の増加を図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内を利用者様が居心地よく、職員が働きやすい環境を整えていく。(整理整頓、季節に合った飾り付け等) 職員が明るい挨拶や笑顔で対応するということを徹底し、利用者様やご家族様への親切丁寧な対応、職員同士の連携、チームワークを高めていく。 居室の整理整頓の徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> 整理整頓の徹底を目指してきたが、物の出し入れが多い場所においては、その意識が低く感じられた。 居室の整理整頓に対する意識もまだ低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 頻繁に出入りしている訳ではないが、鍵が掛かっていた事はなかった。 これまでに指摘があった点について改善されてきた結果、現状で改善すべき点は見当たらない。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内を利用者様が居心地よく、職員が働きやすい環境を整えていく。(整理整頓、季節に合った飾り付け等) 各居室の担当職員が、責任を持って居室の整理整頓を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの受け入れについては継続して行っていく。 地域行事にうぐいす荘の利用者様も参加できるように調整していく。 送迎や訪問の際、ご家族や近所の方と挨拶を交わし、関わりを持つ努力をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの受け入れを積極的に行った。 送迎時等も、お会いした方々に挨拶を徹底して行った。 	<ul style="list-style-type: none"> うぐいす荘の認知度はまだまだ低く、地域の方に知られていない。 そして、小規模多機能というシステムも理解されていない為、簡単なシステムの説明と、地図を載せたチラシ作りをしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型の事業所として、地域の方の認知度を上げる。小規模多機能というシステムの説明と共に地図を載せたチラシ作り・配布を行う。 ボランティアの受け入れを継続して行っていく。

<p>D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事にうぐいす荘の利用者様も参加できるよう調整していく。 ・地域行事に参加するとともに、地域の活動範囲を広げるとともに、地域の方との関わりを持ち、地域の方が頼れる事業所を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所側として、行事等の情報収集が足りていなかった。いつ・どのようになかったかがあるのかを事前に把握していかかった結果、行事への参加が出来なかった。 ・参加可能な利用者様も限られてしまうという現実もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事等があっても、バリアフリーではない等、そういう利用している中でうぐいす荘を利用している方が参加するのは難しいのではないか。という観点から参加の呼び掛けはしなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事等の情報収集を行う。そこから様々な条件を利用者様が少人数でも参加を目指していく。
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に集まって頂く場でもあるのでうぐいす荘での活動や実績報告等だけではなく、現在、事業所内で抱える問題や状況等の報告もしていく。多面からのアイデアや解決策の提案をいただき、より良い方向に向かうように取り組む。 ・運営推進員の方からの提案や地域活動状況報告等も引き続き行っていく。地域状況の情報を収集していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の中で、地域の状況や防炎についての取組みなど話し合い、情報収集が出来た。 ・うぐいす荘の取組みなども報告し、情報を発信する事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の中で、地域の状況や取組み、事業所の報告など、問題なく行えていると思う。 ・現状改善すべき点があるとは思わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に集まって頂く場でもあるのでうぐいす荘での活動や実績報告等だけではなく、現在、事業所内で抱える問題や状況等の報告もしていく。多面からのアイデアや解決策の提案をいただき、より良い方向に向かうように取り組む。 ・運営推進員の方からの提案や地域活動状況報告等も引き続き行っていく。地域状況の情報を収集していく。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・災害対策を地域の方と考えていき、共同して訓練が出来るように計画を立て、災害時の協力体制を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うぐいす荘の避難訓練に運営推進員の方にも立ち会って頂き、避難訓練の様子を見て頂いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプリンクラーの設置があるのは安心感がある。ただ、その点検は怠らずにしたい。 ・災害時ご協力を願う為、近所の方にご挨拶に伺ってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の総合避難訓練と毎月の避難訓練を実施し、災害時の職員間の連携の強化を図り、より迅速に対応出来るよう訓練を重ねていく。 ・設備等の定期的な点検。